

プロジェクト概要

- ・ 期 間 平成29～31年度
- ・ 事業費 約9.8億円（3年間）うち国約7.9億円
- ・ 雇用創出 目標700人（3年間）

事業タイトル

IoT、デザイン等の活用による、富山の製造業の労働生産性の向上と高付加価値化を図る雇用創造プロジェクト

<事務局>

事務局長:商工労働部長
事務局次長:労働雇用課長
事務局員5名:関係課職員

(公財)富山県新世紀産業機構

約0.8億円

- 統括コーディネーター
(橋本和仁氏(物質・材料研究機構理事長))
- コーディネーター(3名)、運営推進員(1名)



産学官金の協議会

＝富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議

研究開発

約3.0億円

<研究開発支援>

- 富山県IoT推進コンソーシアム（仮称）設置（ワークショップ、個別相談の実施）
県内企業が試行的に自社設備にIoT・AI導入等に取り組む場合の一部補助
⇒IoTの「富山型モデル」を推進
- 県内企業グループのコンソーシアムの活動費、研究費や複数企業（ミクラスタ）での実寸大の試作品開発・製造への補助
⇒製品開発力を高め、産業基盤の強化を促進
- 医療現場のニーズ調査、説明会の開催や、製品開発のためのミニクラスター構築他
⇒医薬工連携によるイノベーションを創出
- 県内クリエイターのマッチング機会を創出し、新たなビジネス展開を支援
⇒デザイン・クリエイティブ分野を追加

<研究会事業>

(分野毎に、関係企業によるセミナー等により、国の大型プロジェクトを目指す)

- 「3Dプリンタ」、「高機能素材」、「医薬工連携」、
「水素インフラ・次世代自動車」、「ロボット」に加え、
- 新たにセルロースナノファイバー、CFRPなどの複合材料や、チタン、ニッケル合金などの難削材など研究
⇒航空機等に活用可能な最先端の加工技術開発を支援
- 県内製薬企業の技術者や大学研究者等を対象とした共同研究や製剤機器等の技術研修を実施
⇒バイオ医薬品等の高付加価値製品の研究開発を促進

戦プロでの成果(例) 県内企業による製品開発支援

軽量・高強度なマグネシウム鍛造ホイールを一般車に適用するための研究開発



販路開拓

約1.1億円

- 「機械要素技術展」「国際ロボット展」「エアロマート」への出展
- 大手企業に、県内企業が自社の新技術・新工法を直接説明し商談
⇒成長分野の見本市・商談会の出展により、県内企業の販路開拓と受注拡大を促進
- 県内企業の特徴的な素材と技術を結集したテーブルウェアの統一ブランド化（商品開発・販売PR）
⇒富山のデザイン発信力強化

人材確保

約2.7億円

- 大規模転職フェアへ出展、小規模合同企業説明会など
⇒首都圏の潜在的な地方就職希望者を広く捕捉し、効率的・体系的にマッチング
- 新分野等で高度人材を正社員採用する場合の人件費補助(補助率:中小企業80%・中堅企業50%)
⇒新分野の担い手となるものづくり人材(正社員)の確保を図る

戦プロでの成果(例) 高度人材の確保
採用数 88名(H26～29.3末)

⇒新たに新分野等での正社員化

- ものづくり企業による合同企業説明会の開催

人材育成

約2.2億円

- 新分野等での正社員採用を前提とした訓練付き雇用の補助(補助率:中小企業80%)
⇒新分野の担い手となるものづくり人材(正社員)の育成を図る

戦プロでの成果(例) 将来の担い手の雇用育成
採用数 187名(H26～29.3末)

⇒新たに新分野等での正社員化

- 生産性向上のためIoTの基本的な考え方や必要な改善手法等を習得する研修
- IoT化につながる工場の自動化等に対応する在職者訓練
⇒IoT・AIなどを活かした労働生産性の向上を図ることなど働き方改革を進め、魅力ある職場づくり